

MEIWA CSR

CSR報告書 2018



MEIWA CSR
REPORT
2018

人と地域と社会とつながりたい



この印刷物は、適切に管理された森林で生産された木材を原料に含む「FSC® 認証紙」と、有害な廃液をださない「水なし印刷」、揮発性有機化合物(VOC)成分を含まない環境に配慮したNon-VOCインキを使用しています。

想いをかなえ、時をかなでる。

私たちがつくるマンションの設計図は、「お客様の心の中」にあります。

お一人おひとりの声に耳を傾け、そのビジョンや想いをかたちにします。

そこに住む人の歴史が刻まれていく大切な場所だからこそ、

何年経っても色あせることのない価値ある住まいをお届けする。

それが私たちの仕事であり、デベロッパーとしての使命。

今日も、10年後も、その先も、「ここに住んでよかった」と思えるマンションを。

私たちはクリオブランドの明和地所グループです。

トップメッセージ



代表取締役社長 原田 英明

明和地所グループは、マンションの開発・分譲事業を中心に、不動産売買・賃貸仲介、マンションの総合管理など、皆様の生活の基盤となる「住まい」に関する事業を展開しています。1986年の創業以来、898棟・43,000戸超(2018年10月末現在)のクリオマンションを供給してまいりました。

その間、少子高齢化や都市部への人口集中、地球温暖化や自然災害、ライフスタイルの多様化など、社会の状況やお客様のニーズは時代とともに変化してきました。このような中、当社グループが持続的な成長、長期的な企業価値の向上を実現するためには、お客様の求めるもの、大切にするものを理解し、それをカタチにすることに加えて、社会

全体の「未来」に目を向け課題を解決していくことが重要と考えています。

当社グループでは、2015年に行ったブランディングを契機に、人材育成や環境共生型マンションの開発などのCSR活動に力を入れてまいりました。

2017年には、子会社である明和リアルエステートが展開してきた不動産売買仲介やリノベーション事業を明和地所内に取り込み、不動産流通事業を強化することで、収益の拡大と住宅ストックの価値向上や空き家発生抑制を目指しました。今後も、ステークホルダーの皆様から必要とされる存在であり続けるために、グループの持続的な成長と社会が抱える課題の解決を目指した取り組みを実施してまいります。

この度、当社グループの取り組みの一部を本冊子にまとめました。

これをCSR活動に向けた新たな第一歩とご理解いただき、ご意見を賜れば幸いに存じます。

目次

企業理念	01	社員と明和地所	09
トップメッセージ	02	健康の維持・増進	
社会と明和地所	03	人材育成	
北海道との包括連携協定		投資家と明和地所	11
ジュニアフットボールフェスタ CLIO CUP		株主・投資家との対話	
学校法人麻生塾との産学連携協定		長期安定配当を通じた利益還元	
地球と明和地所	05	コーポレート・ガバナンス	12
環境共生型マンション		企業情報・財務情報	13
クリオ畑		会社概要	
ビーチクリーン活動		事業内容	
お客様と明和地所	07	エリア別供給実績	
クリオオーナーズクラブ		財務情報	
安全・安心な暮らし		社外取締役評価	14

編集方針

編集方針：本報告書は、明和地所株式会社のCSR活動の取り組みをステークホルダーの皆様にご理解いただくとともに、皆様とのコミュニケーションを促進していくために発行しています。
対象範囲：明和地所株式会社とグループ会社を対象としています。なお、社名の表記がない箇所は、明和地所株式会社の取り組みです。
報告対象期間：2018年3月期(2017年4月1日～2018年3月31日)一部この期間外の情報が含まれている箇所は、その旨を明記しています。

発行：2018年12月

参考にしたガイドライン：GRI(Global Reporting Initiative)「GRIスタンダード」、国際標準化機構(ISO)「ISO26000」

免責事項：本報告書は、情報提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。掲載内容は、今後の事業環境の変化などにより実際の結果と異なる可能性があります。

社会の未来に目を向け「地域振興」「人材育成」「被災地支援」など、多岐にわたる社会貢献活動に取り組んでいます。



建築現場見学会

北海道との包括連携協定

札幌エリアでは、創業時より新築分譲マンションを供給し、73棟3,209戸の実績を積み重ねています(2018年10月末現在)。

創業30周年を機に、北海道の活性化に向けて相互に連携・協力しながら協働事業に取り組むことを目的として、2016年6月に北海道と「包括連携協定」を締結しました。北海道産の家具をモデルルームや完成したマンションのエントランスホールに採用したり、WEBサイト「ディスカバー北海道」を開設し、恵まれた自然がもたらす食、観光、

ライフスタイルなど資源あふれる北海道の情報を毎月発信しています。クリオマンションオーナー様向けの会員組織「クリオオーナーズクラブ」では、定期的に北海道の特産品を抽選でプレゼントしています。

また、学生向けの建築現場勉強会を開催し、人材育成や教育にも積極的に携わっています。

長期的な人材育成や地元企業と協力した活動などにも取り組み、より一層、北海道経済の活性化をお手伝いしていきたいと考えています。



包括連携協定調印式



WEBサイト「ディスカバー北海道」
https://www.meiwajisyo.co.jp/discover_hokkaido/

ジュニアフットボールフェスタ CLIO CUP

2015年より、小学生を対象としたサッカー大会「ジュニアフットボールフェスタCLIO CUP」に特別協賛しています。

本大会は、「夏休みを利用した強化のための真剣勝負の場」として、さらには「チームの勝利を追い求めるだけでなく、才能と個性をもった選手を育成し、夢をもつことの素晴らしさを伝える」ことを目的として開催されています。

2016年大会(第2回大会)からは、U12とU10の2つのカテゴリーを設け、大会規模も2倍になりました。



第3回ジュニアフットボールフェスタ CLIO CUP 2017

毎年、出場チームから選抜された優秀選手で「TEAM CLIO」を編成し、世界の強豪チームに挑戦する海外遠征を実施しています。

また、大会期間中は当社の社員や内定者が参加し、会場の設営や会場内でのイベントの運営など大会を盛り上げるサポートを行っています。

今後もたくさんの方に選手たちを応援していただけるよう、さまざまな方法で本大会を盛り上げていきたいと考えています。



TEAM CLIO U12とFCバルセロナ下部組織の選手(2017年度)

【海外遠征実績】 2015年度 スペイン
2016年度 ドイツ・オランダ(U10)・スペイン(U12)
2017年度 ドイツ・オランダ(U10)・スペイン(U12)

学校法人麻生塾との産学連携協定

福岡支店の開設(2015年3月)を機に、学校法人麻生塾とそれぞれがもつ人的資産や知的資産、地域資産を活用し、人材育成、社会貢献を目的として、2016年3月「産学連携協定」を締結しました。

初めての取り組みでは、当社の福岡初の販売物件となる「クリオ室見」の建設地仮囲いをキャンパスに、「小学生の夢」をテーマに20種の憧れの職業のイラストを描いてもらい、建設現場を彩りました。その後は、モデルルームの一部のデザインや、福岡市内のバス停に掲載する企業広告のデザイン、「ジュニアフットボールフェスタCLIO CUP」の選抜チーム「TEAM CLIO」のエンブレムのデザイン作成などを行いました。

今後は、さまざまな分野のプロジェクトで、学生たちの成長につながる機会を提供できるような取り組みを行いたいと考えています。



学生と作品(企業広告ポスターデザイン)



【取り組み実績】
2015年「クリオ室見」建設地仮囲いデザイン
2016年「クリオ ラベルヴィ呉服町」モデルルームデザイン
明和地所の企業広告ポスターデザイン(福岡市内バス停掲出)
2017年「TEAM CLIO」チームエンブレムデザイン

「環境負荷の低減」「環境の保全・再生」を意識し、サステナブルな街づくりに取り組んでいます。



クリオ横濱綱島

環境共生型マンション

東日本大震災以降、省エネルギーや災害対策に対する意識が急速に高まり、太陽光発電や蓄電池によるアクティブソーラーシステムの導入が盛んとなる一方、日本古来の自然をコントロールする家づくりの重要性も再認識されました。当社では、日本古来の家づくりの知恵と最新技術との融合により、住み心地と環境負荷の低減を両立する住まいの開発を目指しています。

「クリオ平和台」(2013年1月竣工)は、自然の力を利用・調節し、温熱・空気環境をコントロールするパッシブデザインを採用しました。建物の周りに豊富に巡らせた植栽や屋上緑化は太陽光や輻射熱を遮り、中庭の水盤で冷やされた風は、玄関窓を通して住戸内を通り抜けます。また、太陽光パネルと蓄電池を設置することで、省エネをかなえると同時に非常時の備えとしています。

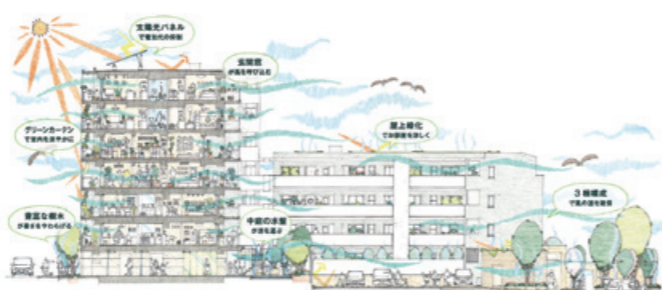
パッシブデザインとアクティブソーラーシステム双方のメリットを活かしたハイブリッドレジデンスは、「環境共生型マンション」として高く評価され、2015年にはグッドデザイン賞を受賞しました。

「クリオ横濱三ツ沢」(2016年12月竣工)では、パッシブデザインの採用に加えて、人と人とのつながりを広げる工夫を施しま

した。土に触れ、植物を育てることの楽しさや素晴らしさを共有することで、居住者同士のコミュニケーションが自然に育まれるよう、敷地内に家庭菜園スペース(7区画)を計画しました。

「クリオ横濱綱島」(2018年3月竣工)は、パッシブデザインとアクティブソーラーシステムに加えて、家庭用燃料電池エネファームを融合させることにより、「トリプルハイブリッド型省エネ住宅」を目指しました。全住戸にエネファームを設置した本物件は、従来の給湯器を使用した住宅と比べてCO₂の排出量の削減を実現し、低炭素建築物に認定されました。

「環境にやさしい住まいは地球にもやさしい。」そんなことを考え、住まいづくりを推進していきます。



環境共生型マンションイメージイラスト

クリオ畑

2015年1月より、地域の方のコミュニケーションの場、食育の場になればと、横浜市戸塚区に保有する敷地面積およそ2,000㎡の土地を貸し農園として活用しています。この貸し農園の一角に誕生したのが「クリオ畑」です。

40㎡ほどの小さな畑で、当社グループの社員が土を耕し、種や苗を植えて野菜を育てています。季節ごとに、クリオマンションオーナー様向けの会員組織「クリオオーナーズクラブ」で開催する収穫体験イベントは、収穫自体が初めての方も多く、採れたて野菜のおいしさで毎回ご好評をいただいています。

また、イベントに参加していない方にも楽しんでいただけるよう、野菜の成長過程やイベントの様子などを専用WEBページでお伝えしています。

収穫だけでなく野菜を育てることの楽しさや難しさを肌で感じられる場を、会員様をはじめ、明和地所グループ社員や家族の方にもご提供していきたいと考えています。



クリオ畑の様子(左)、収穫した野菜(右上)、収穫イベントの様子(右下)

ビーチクリーン活動

日本プロサーフィン連盟(JPSA)のサーファーズ・マインド「海の大きさを知り、自然を大切に。自分の力量を知り、命を大切に。ルール必要性を知り、人を大切に。」に共感し、2014年よりJPSAが主催するジャパンプロサーフィンツアーに特別協賛しています。当社の事業エリアである神奈川県茅ヶ崎市で開催される大会では、出場選手をはじめ、運営スタッフ、当社グループの社員、ギャラリーと一緒にビーチクリーン活動を行っています。湘南ビーチは地域の方々にとって生活の一部になっており、ビーチがいつまでも美しく維持されることは、湘南エリアに暮らすこと、そのライフスタイルを提案してきた私たちにとっても嬉しいことです。

今後は、環境への興味や意識につながるよう、さらに範囲を広げ、多くの人に参加できる活動にしていきたいと考えています。



2016年実施の様子

お客様と明和地所

MEIWA
with Customer

住む人の人生に深く関わることで共感が生まれ、
人々に愛される企業を目指しています。



親子で学ぶ!プログラミングセミナー

クリオオーナーズクラブ

2015年4月、クリオマンションオーナーの皆様と当社グループとのコミュニケーションの場として「クリオオーナーズクラブ」を発足しました。

当社グループが分譲・管理しているマンション(一部除く)のオーナー様を対象とするWEB会員組織で、2018年2月には会員数が10,000人を突破しました。

毎月抽選のプレゼント企画、20種を超える割引特典などの「嬉しい」会員様限定特典に加えて、おすすめ書籍やオフの時間の楽しみ方のご提案など「楽しい」情報や、マンションでの快適生活術や親子のコミュニケーションツールのご紹介などの「役立つ」情報を発信しています。

また、暮らしに関するセミナーやワークショップは、会員様と当社グループ、会員様同士が直接ご交流いただける場にもなっています。

会員様はもちろん、一人でも多くのオーナー様の暮らしを彩るお手伝いができるよう、コンテンツの拡充やさまざまなイベントの企画などに取り組んでいきます。



音で遊ぼう~音楽と絵本のコンサート~



[2016年度・2017年度開催イベント]

- 2017年 2月 『上原浩治 球春スペシャルトークショー』
- 2017年 3月 『音で遊ぼう~音楽と絵本のコンサート~』
- 2017年 8月 『親子で学ぶ!プログラミングセミナー』
- 2017年11月 『大向こう 堀越さんに学ぶ「はじめての歌舞伎鑑賞」』
- 2018年 1月 『大人のダイエットセミナー「食べて、飲んで、痩せる!?!」』

安全・安心な暮らし

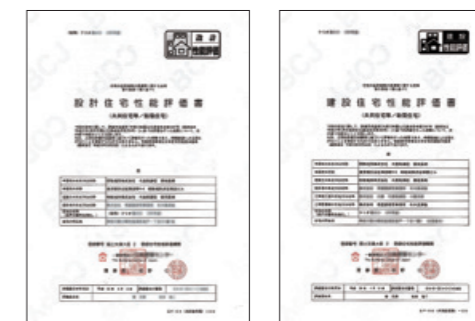
クリオマンションは、明和地所独自の「クリオマンション標準仕様書」に基づいて設計し、「品質管理基準」を遵守して施工管理を行っています。

「クリオマンション標準仕様書」「品質管理基準」は、2年ごとに見直しを行い、常に、今以上の安全・安心をお届けできるよう、検討を重ねています。

工事は建設会社や設計監理者に任せるだけでなく、一級建築士などの資格を持った当社の社員が8回以上にわたり実際の建築現場を訪れ、延べ400以上の項目を細かく検査します。さらに、すべての物件が設計、建設工事完了の各段階で、国土交通大臣に登録した第三者機関から公正かつ客観的な「住宅性能評価」を受けています。

また、明和管理の運営するお客様専用オンラインサービス「イーマンションサービスどっとネット」を通して、お客様に工事の進捗状況を写真付きでお届けしています。

物件をお探しの方に「安全・安心を考えるならクリオマンション」と言っていただけるよう、そして災害時でも「クリオマンションなら大丈夫」とご安心いただけるよう、品質に磨きをかけていきたいと考えています。



設計住宅性能評価書(左)
建設住宅性能評価書(右)



各施工段階での検査

■マンション施設見学会

クリオマンションには、たくさんの施設や設備が備え付けられています。しかし、居住者の方が日々利用する場所は、エントランスやエレベーター、各戸などの限られた場所でご自身がお住いのマンションに、どのような施設や設備があるのか、どのような役割を担っているのか、ご存じない方がたくさんいます。

明和管理では、各施設や設備の機能、目的、能力などについてご説明することで、居住者の方にマンションの管理や設備のメンテナンスの大切さなどについてご理解を深めていただくために、「マンション施設見学会」を開催しています。



■消防訓練

災害大国と呼ばれる日本では、いざという時の備えとして、自治体や学校などが主体となって各地で防災活動を行っています。多くのマンションでは、消防法により防火管理者の設置が義務付けられており、居住者から防火管理者を選任し、消防計画の策定及びこれに基づく消防訓練を定期的実施する必要があります。

明和管理では、定期的に管理組合に消防訓練の実施をご提案し、居住者の方への告知から消防署への事前相談、当日の運営などのお手伝いをしています。

消防訓練は、居住者の方にとって避難訓練や消防の指導による消火訓練、通報訓練や講和を通じて、状況に応じた判断力、行動力

を養い、生命や財産を守るための訓練となるだけでなく、居住者間のコミュニティ形成や明和管理とのコミュニケーションの場にもつながっています。



さまざまな個性をもった社員が、能力を十分に発揮してイキイキと働くことができるような、職場環境づくりを行っています。



明和地所グループ大運動会

健康の維持・増進

社員の健康促進は、生産性の向上や収益力の向上につながる非常に重要な課題です。

当社グループでは、社員の健康の維持・増進を図るため、さまざまな取り組みを行っています。年に1回開催される「運動会」は、全グループ会社の社員やご家族が参加します。日々の運動不足を解消するだけでなく、スポーツを通じて部門や役職、会社間のコミュニケーションを図り、グループとしての団結力を高めるとともに、仕事の活力へとつながっています。

社内に設置したトレーニングジムは、全グループ会社の社員が自由に利用できるほか、月に4回、外部講師をお迎えし、ヨガ・ストレッチ・ピラティスなどのフィットネスプログラムを開催しています。

こうした活動が評価され、2017年11月には、東京都が創設した「東京都スポーツ推進認定制度」において、「平成29年度東京都スポーツ推進企業」に認定され、同年12月、これと連動してスポーツ庁で実施される「スポーツエールカンパニー」にも認定されました。

※「東京都スポーツ推進企業」の認定は、2016年に続き二度目となります。



社内に設置したトレーニングジム



教育研修

人材育成は、会社の持続的な成長を実現する上で欠かせないものと考えています。

入社直後に行われる「新入社員研修」では、時間をかけて各部門やグループ各社の業務内容や商品、サービスを学ぶとともに、社会人として必要なマナーを身につけます。

月に1回開催される研修会では、新入社員に限らず、職務遂行に必要と考える知識・技能の習得を行なえるカリキュラムを組んでいます。

その他、コンプライアンス研修などは年度計画のもと実施しており、関係法令の改正などに関する研修会も都度、開催しています。

2017年7月には、外部講師をお迎えし、良好な職場環境の構築を目的とした研修会を開催しました。

さまざまな研修を通して、社員一人ひとりの成長を促し、組織としての総合力の向上を目指します。



外部講師を迎えた研修会



明和リアルエステートでは、「eラーニング」を導入しています。受講者の受講結果の一元管理、素早い情報共有、コストの削減を実現するだけでなく、受講者は時間や場所を選ばず受講できるため、業務の効率化にもつながっています。

当社グループは、社員のサークル活動を支援しています。

活動を盛り上げるために大会への参加費用を補助し、大会当日は多くの社員が応援に駆け付けています。

サッカー部(明和地所)

明和地所のサッカー部は、はじめはサッカー好きが集まって活動する同好会でしたが、2014年の東京都不動産健康保険組合が主催するフットサル大会への参加を機に本格的に活動するようになりました。

2014年、2015年大会は予選敗退で終わってしまいましたが、2016年大会では優勝することができました。

また、新入社員を部員に迎え、厳しい練習を重ねた2017年大会でも優勝し、2年連続優勝を達成しています。

上司と部下の垣根を越えて喜びを分かち合うことができ、普段仕事では見られない仲間の一面にも触れることのできる貴重な機会となっています。



フットサル部(明和管理)

明和管理のフットサル部は、マンション管理新聞社主催の「マンション管理フットサルリーグ」に参加しており、2017年9月大会では、M-2トーナメントで準優勝することができました。

大会や練習などを通じて、社員のリフレッシュとなるだけでなく、同業他社の方との交流にもつながる貴重な活動となっています。

今後は、部員を増やしチームのさらなる飛躍を目指します。



企業情報を適切に開示し、株主・投資家とのコミュニケーションを推進しています。

株主・投資家との対話

会社情報を「迅速」「正確」かつ「公平」に開示することで、株主・投資家の皆様からの信頼を得られるよう努めています。東京証券取引所の定める適時開示規則に従い情報開示を行うことはもちろん、適時開示規則などに該当しない情報についても、ステークホルダーに有用と判断される情報については積極的に開示しています。

適時開示規則に該当する情報の開示については、東京証券取引所の提供する「TDnet」を通じて公開するとともに、当社WEBサイトにも速やかに掲載しています。有価証券報告書、四半期報告書などの開示書類は、金融庁の提供する「EDINET」を通じて公表しています。

また、第二四半期決算と本決算の年2回開催しているアナリストや機関投資家を対象とした決算説明会や株主総会を通じて株主・投資家の皆様と経営トップとの直接的な対話を推進しています。



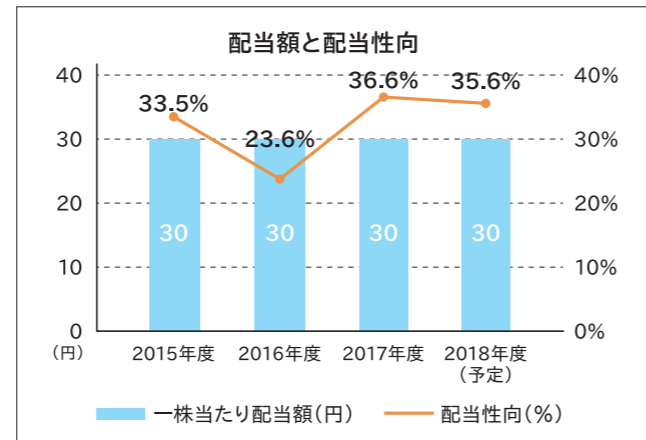
決算説明会

明和地所IR情報：<https://www.meiwajisyo.co.jp/corp/ir/>

長期安定配当を通じた利益還元

財務体質の強化に不可欠な内部留保を確保しつつ、株主の皆様に対する長期安定配当を通じた利益還元を経営の重要課題と認識しています。各年度における利益や将来の事業展開などを総合的に勘案し、財務強化・成長投資・株主還元のそれぞれを重視してバランスの取れた資本政策を実施しています。

2017年度は期末配当30円、2018年度についても期末配当30円を計画しています。



■ブランドコンセプト

「クリオ (CLIO)」は、明和地所グループが提供するマンション名であり、明和地所グループ各社とその総合力で提供するサービスを象徴するブランドです。その名はギリシャ神話に登場する歴史を司る女神の名前に由来します。お客様の最良のパートナーとなり、かけがえのない時間と笑顔が満ちる豊かな暮らしを共創し、「そこに住む人の歴史が刻まれていく大切な場所」を提供し続ける。これが、私たち明和地所グループが提供するクリオブランドの想いです。



社会への貢献や企業価値の向上などの経営目標を達成し、株主その他のステークホルダーに対する責任を果たしていく上で、経営の健全性・透明性・効率性を確保していくことが重要であると考えております。

コーポレート・ガバナンス報告書
<https://www.meiwajisyo.co.jp/corp/company/governance/>

■会社機関の内容

取締役会

取締役会は、社外取締役1名を含む6名で構成されています。取締役会は、毎月1回の定例開催に加え、必要に応じて臨時開催を実施し、重要な経営事項、業務執行に関わる事項の決定及び業務執行の監督を行っています。また、取締役会には監査役が出席し、必要とされる任務を遂行しています。

監査役会

監査役会は社外監査役3名で構成され、監査方針、監査計画を策定し監査役監査規程に基づき、会計監査人及び監査室と連携して監査を実施しています。前述の通り、監査役が取締役会に出席するとともに、常勤監査役が経営戦略会議及び関係会社会議にも出席することで、関係会社を含めた当社グループに関する重要事項について把握できる体制をとっています。

■リスクマネジメント体制

リスク管理が実践的に実施される体制を構築するためにリスク管理委員会を設置しています。リスク管理委員会は、取締役によって構成され、基本方針、規定などを制定し、各部門におけるリスク管理の整備、運用を統括しています。

■内部監査体制

業務執行部門から独立した代表取締役社長直轄の内部監査部門として、監査室を設置しています。監査室は人員2名で構成されていますが、コンプライアンス委員会及びその小委員会である内部統制小委員会と緊密に連携し、必要に応じてそれらの委員を活用することで内部監査の実効性を確保しています。監査室は、監査役(会)及び会計監査人と協力しつつ、当社グループ全体の監査を実施し、この結果を代表取締役社長及び監査役(会)に報告し、必要に応じ改善指導を行っています。

■会計監査の状況

新日本有限責任監査法人との間で会社法及び金融商品取引法に基づく会計監査についての監査契約を締結し、定期的監査のほか会計上の課題について協議し、適性な会計処理に努めています。

当社では、これらを保証する体制として、コーポレート・ガバナンスの整備・強化を重要課題の一つとして位置づけ、明和地所グループ全体としての取り組みを進めています。

執行役員制度

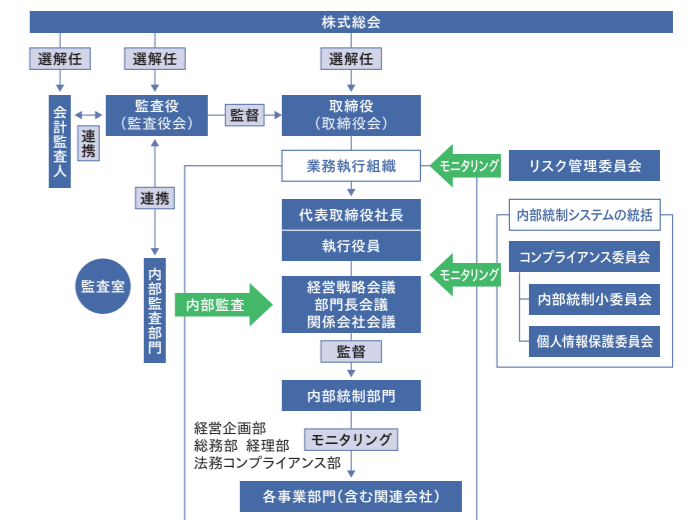
経営の効率化と意思決定の迅速化を図るとともに、執行責任の明確化と執行機能の向上を図ることを目的として、執行役員制度を導入しています。執行役員の業務執行については、取締役会、取締役及び監査役が監督しています。

経営会議

取締役、常勤監査役、執行役員、支店長及び本部長で構成される経営戦略会議にて、当社の経営全般にかかわる重要事項の報告、協議及び検討を行っています。また取締役、執行役員及び本部長により構成される部門長会議、及び代表取締役社長、関係会社担当役員、常勤監査役及び関係会社の責任者で構成される関係会社会議を行っています。

■コンプライアンス体制

取締役及び執行役員、また社員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するため、「明和地所グループ 行動規範」を定めています。コンプライアンス委員会統括のもと、当社全体としてのコンプライアンス体制の整備、運用に努めるとともに、社内及び社外に通報手段を確保し、内部通報者に不利益がないことを保障することで実効性を確保しております。



企業情報

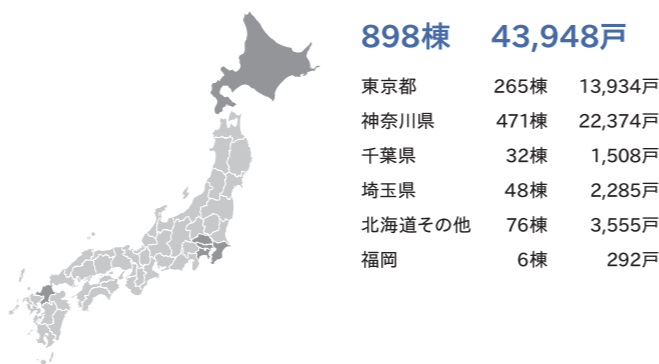
■会社概要 (2018年10月末現在)

商号 明和地所株式会社 (MEIWA ESTATE Co.,Ltd.)
 所在地 <本社> 〒150-8555 東京都渋谷区神泉町9-6
 明和地所渋谷神泉ビル TEL. 03-5489-0111 (代)
 <札幌支店> 〒060-0001 北海道札幌市中央区北
 1条西2-1 札幌時計台ビル1階 TEL. 011-261-0120 (代)
 <福岡支店> 〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神
 1-2-12 メットライフビル12階 TEL. 092-753-8817 (代)
 <名古屋支店> 〒450-0001 愛知県名古屋市中
 村区那古野1-47-1 名古屋国際センタービル11階
 TEL. 052-589-2270 (代)
 設立 1986年4月24日
 従業員数 317名
 加盟団体 (一社)不動産協会 (一社)不動産流通経営協会
 (公社)首都圏不動産公正取引協議会

資本金 35億3,750万円
 発行可能株式総数 104,000,000株
 発行済株式総数 24,893,734株
 上場市場 東京証券取引所市場第一部
 証券コード 8869
 単元株式数 100株
 株主総数 8,230名 (2018年9月末現在)
 グループ会社 明和管理株式会社
 明和リアルエステート株式会社
 明和ファイナンス株式会社
 明和ライフサポート株式会社

■事業内容

■エリア別供給実績 ※新築分譲マンション (2018年10月末現在)



移り行く時代の中で、人々に選ばれる企業の条件は変化し続けています。

これまでは良い商品を生産し供給することで、顧客ロイヤルティを獲得することが主流でしたが、現代社会ではすべての企業活動において、ステークホルダーの期待の把握に努めながら実現に向け鋭意取り組むことが重要です。

そのような中、明和地所グループが社会の未来と真摯に向き合い、地域振興や人材育成、環境に配慮した商品の開発や環境保全活動など、ブランディングを契機に力を入れて取り組んできたさまざまな活動は、たくさんの人々の共感を得ることにつながっているのではないかと感じています。

今後の課題としては、CSR活動の定着化とレベルアップを図ること、社員一人ひとりが参加できる仕組みをつくることなどが考えられます。

今回、初めてCSR報告書を発刊することとなりましたが、社会的責任のある企業がステークホルダーに対してさまざまな情報を発信することは非常に大事なことです。また、本報告書は社員が自社の活動を振り返り、CSRについての理解を深める事にもつながると思います。まずは、経営陣及びすべてのグループ社員が現代社会やこれからの社会が直面するさまざまな課題について考え、自ら行動することができるような企業集団づくりを目指してもらいたいと願っておりますし、それが実現できる会社だと思っております。



社外取締役 小林 大祐

財務情報 (連結)

